



学校だより

# 子どもの未来をみんなで創る

令和3年 1月号

神奈川県立相模原中央支援学校

新しい年を迎え、令和も3年目に入りました。令和2年の年末は連日のニュースで新型コロナウイルス感染症の爆発的な広がりを見せ、年が明けてからは「緊急事態宣言」が発令される状況になっています。そのような状況下の年末年始は例年とは違い、なかなか外に出られなかったり、遠くのご親戚やご友人に会えなかったりといった冬休みを過ごされた方も少なくはないと思われます。

さて、今年は「丑年（うしどし）」です。牛が農作業を真面目に最後まで手伝ってくれる様子から、「丑年」は“我慢”“耐える”や“発展の前触れ”“芽が出る”年になるとも言われているそうです。そう言われてみれば、未だコロナ禍から抜け出せず、今は人との距離をとったり、寒くても換気をしたりと、我慢しなければならないこと、耐えなければならないことは続きそうです。しかし一方で、これからの発展やこれから出る芽を蓄えている楽しみも、きっとその我慢の先にあるとも言ってくれているようです。

年度のまとめの3学期です。手洗い・うがい、マスク着用、換気や消毒の徹底に加え、不要不急の外出を控えながら、「新しい生活様式」における安全で安心な学校生活を送ることができるよう、今後ともご理解・ご協力のほど、どうぞよろしく  
お願い申し上げます。

《副校長・篠原朋子》



## 総務グループです ～新しい学校生活～

○新しい生活様式や学校生活の変化に戸惑いもあるものの、元気に活動する子どもたちの姿を見てみると「学びの場」がどれだけ大事なものが再確認することができました。『手洗い』『マスク着用』等できることをしっかりと行い、感染症から子どもたちの「学びの場」を守り抜くためにも、今まで通り感染症予防対策へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

～『新しい学校生活』取り組み例のご紹介です～

☆『安全防災だより』を11月に発行しました。また、小学部を対象に本校初めての『災害時における引取り訓練』を行いました。ご家庭に配付している『紫ファイル(防災ハンドブック)』をベースに、実際に保護者に参加いただき、実践的な訓練ができました。今回は、感染症予防の3密対策として小学部だけの実施としましたが、「安全と学び」の両立を目指し、工夫と改善で今後とも取り組んでいきます。

☆避難訓練を毎週月曜日に3週連続で「小学部」「視覚聴覚部門・中学部」「高等部」の3回のグループに分けて実施しました。避難を行わないグループは、シェイクアウト訓練を教室等で実施。短期間に連続で取り組むことで『避難訓練 with コロナ』のいろいろなヒントも生まれました。

～医療的ケア情報～

☆「経腸栄養分野の小口径コネクタの変更」について(国際規格製品への変更になります)

「現行規格品の供給が2021年11月末までに終了する」旨の通知が厚生労働省よりあり、病院によっては具体的なお話をしているとの情報も…。ご家庭と学校でお互い情報交換していきましょう!!

《総務グループ長 的場真也》